



# あ や め



## 3年生、充実した “修学旅行”でした!

3年生は、4月20日(木)～22日(土)の3日間、京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。コロナ禍での旅となりましたが、対策を講じながら、無事予定通り日程を終えることができました。

前日の出発式では、団長の上田校長先生から、「『楽しむこと』自分だけでなく、自分以外の人も楽しめる旅にしましょう。クラスの絆を築き、深め、一生忘れることのない思い出をつくりましょう。」



(テーマ『温故知新』に絡め) 京都は都としておよそ千年の歴史を持っています。しかしながら、それも(地球の)歴史の時間の流れの中ではほんの一瞬のことです。過去の歴史を知ることと現在の状況で、未来が見えてくることもあります。ぜひそういった観点からも『旅』を楽しんで下さい。」

と、指針や温かいアドバイスをいただきました。

1日目はクラスごと世界遺産の法隆寺と奈良公園(東大寺・興福寺を中心に)を見学し、京都の旅館「三木半」に宿泊しました。

2日目は、京都市内をグループ別「自主見学」を行いました。2年生の頃から事前学習を始め、自ら興味関心を持った見学地をピックアップして京都の寺社仏閣をはじめ観光名所を見学して巡る「自主見学」。そのコース作成にこだわった甲斐もあり、予定通りのコースを巡ることができました。

外国人観光客もかなり増えていましたが、中には運転手の計らいで、渋滞回避のために見学順を変更したり、見学地を増やしたりしたグループもあり、とても有意義なひとときを仲間と過ごすことができました。

自主見学のラストは、学年が一堂に集い「座禅」体験をしました。建仁寺の塔頭の一つである「西来院(通常は拝観不可)」にて、作法を学んだり、説法を聞いたりしました。全員が真剣な面持ちで取り組みました。他では味わえない、貴重な経験をする事ができたのではないかと思います。

3日目は全員で世界遺産「清水寺」の拝観をしました。「地主神社」の拝観がかなわず、残念がる生徒もいましたが、清水の「舞台」からの絶景を味わったり、「音羽の滝」の水をいただいたり「清水」を堪能できたのではと思います。その後は、絵付け体験を楽し

みました。生徒達の楽しみながらの作業に、指導していた方もうれしそうにアドバイスをしていたのが印象的でした。京都の窯で焼いたそれぞれの作品が後日送られてくるそうです。楽しみです。

清水坂では、ずいぶん混み合う中でしたが、友人と仲良く買い物をしていました。

昼食も京都盆地を一望できるところでおいしくいただきました。

午後は、いよいよ帰校の途につきました。旅への思いはつきませんが、それぞれクラスごとバスに乗り込みました。

この修学旅行の3日間を通して、新しいクラスの親睦が深まると同時に、一つの行事を同じ目標を持ってやり通したことで学年の絆もより一層深まったことと思います。また、新年度がスタートして間もない中、事前の準備をしっかりと行い、参加者全員が帰ることができました。

生活に関わる時間の徹底など、新3年生の団結力の強さを感じることができた修学旅行でした。

これから本格的に始まる学校生活(日常生活・授業・部活動)においても、修学旅行での経験を生かし、最上級生として一日一日を大切に過ごしていってほしいと思います。





# 全校生徒会主催『新入生歓迎会』 全校生徒、意気投合！！



4月11日（火）、毎春恒例の生徒会本部主催新入生歓迎会が行われました。

1年生にとっては、入学後は、10日の学年・学級開き・給食開始に続き、11日AMには身体測定、そしてPM新入生歓迎会、さらに週の後半はいよいよ教科の授業も開始と、目まぐるしい一週間であったと思います。小学校から中学校へと、大きく環境が変わったので大変だったのではないのでしょうか？

さて、新入生歓迎会では、そんな1年生のために生徒会本部役員を中心に（教員も参加し）、中学校での1日の生活の様子が寸劇のスタイルで紹介されたり、本校ゆるキャラ『あやめちゃん』も登場してくれました。また、縦割り学級の系列である色組の抽選会も行われました。今後、「ハレルヤ」の系列練習や学園祭（紫翠祭）の取り組みなどが、この色組系列によって進められていきます。3年生をはじめ先輩方が優しく支えてくれる中で、楡形中の行事を楽しく体感できると良いですね。また、1年生は部活動見学をして、部活動をそれぞれ決めました。部活動は、中学校生活の大きな部分を占めることになります。3年間の活動が大きな財産となるよう、仲間と共に取り組んでいきましょう。



## 縦割りクラス編成《色組抽選》結果は以下の通り。

色組	青	赤	橙	緑	黄
3年⇒	1組	2組	3組	4&6組	5組
2年⇒	5	1	3	4	2
1年⇒	5	3	4	1	2

## <救急救命法講習会>をしました

4月10日（月）学級開きの放課後、本校全教職員が救急救命法の講習を受けました。



講師として「日本赤十字病院の方々」をお招きし、1時間強に渡り、直近の救急法の伝達を受けました。一人ひとりに講習用人形を

あてがってもらい、万が一の場面を想定し、救命練習に取り組みました。

毎年行っているこの講習会によって、少しずつでも

私たちの技量が上がり、もしもの時に役に立つことができれば、との一念がありますが、

学校現場でそもそもこの技術を使う場面をつくらなければ、教職員一同決意を新たにしました。



